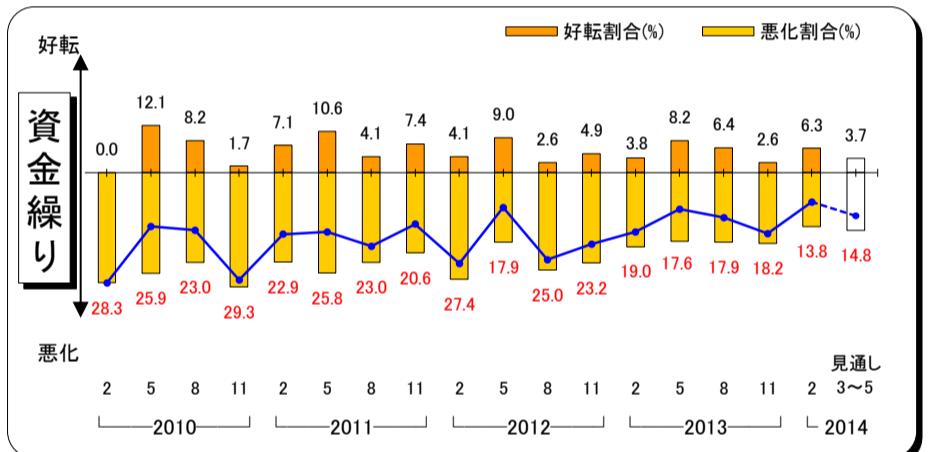
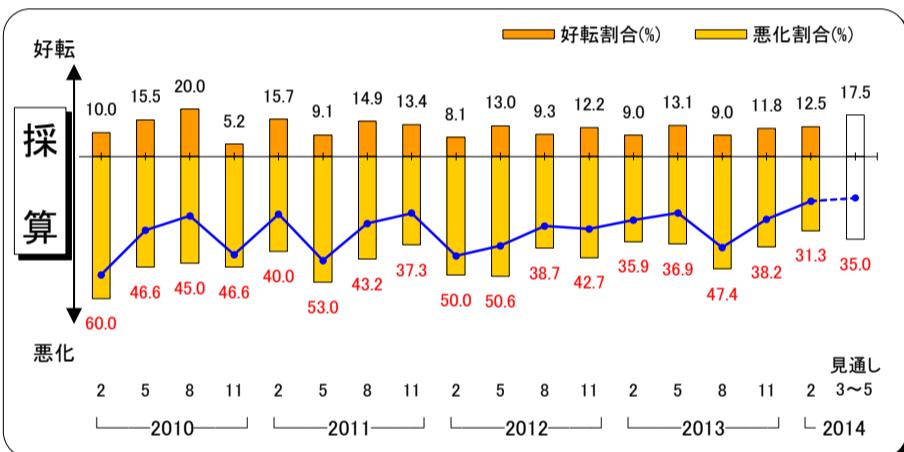
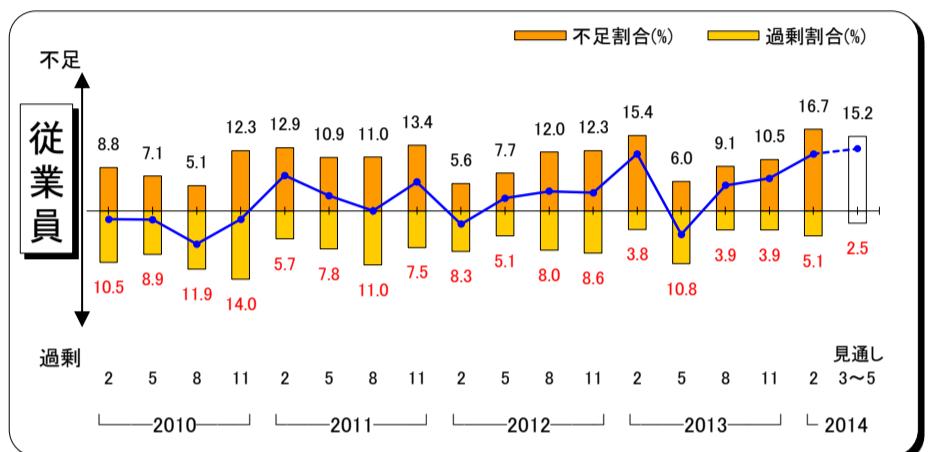
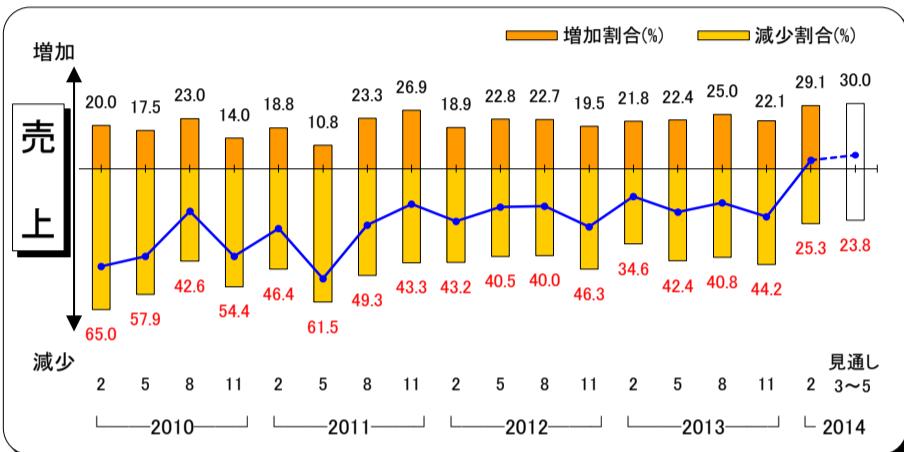
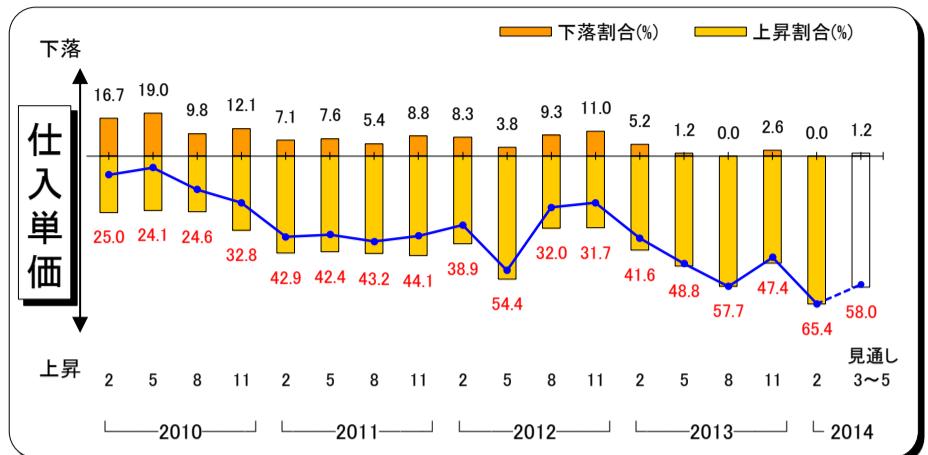
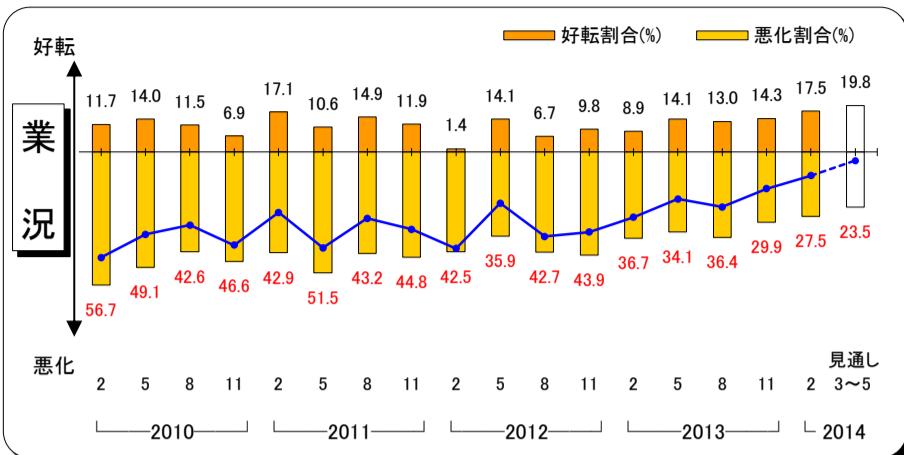


【卸売業】①



【卸売業】②

企業の声（順不同）

米麦卸売業	受注単価、販売価格の動向を注視している。
飲料卸売業	消費税増税による個人消費減退、及び商品単価への付加対応を懸念している。
牛乳・乳製品卸売業	4月から増税される消費税について、消費者動向からして食品・飲料・外食を控える傾向があるため、かなりの影響が考えられる。ただ、一時的なものとの意見が多数あるため、秋ごろには影響は縮小されるのではないか。原油・ガス価格の上昇に関しては、ISO導入を機に節電・節水・燃費の向上を目指した活動を行って節減している。
建築材料卸売業	仕入価格の動向、受注単価・販売価格の動向に注目している。
化学製品卸売業	仕入価格の動向を注視している。
非鉄金属スクラップ卸売業	日銀の追加緩和後退で円高に振れていますが、1ドル=100円から104円、もしくは105円の為替で推移すると思われます。市況的には天井感が出ており、当面は高値安定と見ていています。工場発生くずは少ないものの、消費税率引き上げ前のビル解体が増えているため、アルミサッシの発生が急増しています。
再生資源卸売業	ウェス原料(再利用布等)の高騰により採算悪化。
産業機械器具卸売業	消費税率が上がることはかなり影響があると思う。9月頃まではあたふたする。
産業機械器具卸売業	先行きの見通しが立ちません。輸出先国の経済動向がどう変化するか、円安が続行するのか、円高に戻るのか、また何が起こっても仕方ない状況になるのでは・・・本当にアベノミクス効果で景気が上向くのでしょうか？
タイヤ等自動車部品卸売業	消費税増税を4月に控えているので、特に3月は、企業の買いだめもあって、タイヤの仮需要が発生するのは確実。特に3月31日が期限のエコタイヤ導入の補助施策でトラック輸送業者が動く。
理化学機械器具等卸売業	円安の影響を大きく受けています。その上、4月からの消費税増税の反動減が非常に心配です。日本国政府の外交問題による国際業務への影響も大きいです。しかしながら、生産拠点等の国内回帰は有り得ないと思っています。
化粧品卸売業	2月に新規の設備投資を実施した。新しい従業員も二人入社し、現状では先行き見通しはまだまだ厳しいが、売上を伸ばしていくかなければならない状態にして社員全体で頑張るしかない。
肥料・飼料卸売業	最近数年間、昇給はない。